BD / HD DVD / DVD

I·O DATA

Windows版セットアップガイド

B-MANU200813-01

BRD-UXH6

1.接続しよう Ⓐ

eSATAケーブルでパソコンに接続する場合

手順.1

OSを起動します。

※Windowsを管理者権限でログオンしてください。

手順.2

パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

手順.3

パソコンのルーフカバーを外し、添付のeSATAブラケットをパソコンのPCIスロットに挿し込み、ネジ止めします。

※ネジはパソコン付属のものをご使用ください。

手順.4

添付のeSATAブラケットのケーブルをパソコン内部のSATAポート（シリアルATAコネクター）に接続します。

手順.5

パソコンのルーフカバーや電源ケーブル、周辺機器を元に戻します。

手順.6

本製品のモード切替スイッチを[ノーマルモード]に設定します。（出荷時設定）

手順.7

本製品に添付のeSATAケーブルを接続します。

手順.8

本製品に添付のACアダプターを接続し、電源コンセントにつなぎます。

手順.9

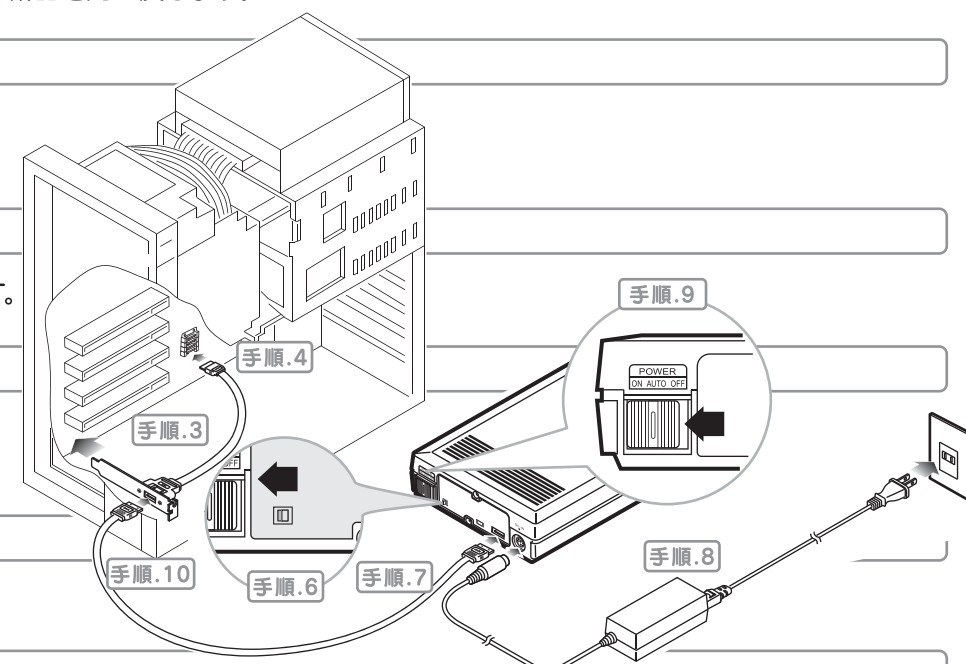
本製品の電源を[ON]にします。

手順.10

eSATAケーブルをeSATAブラケット（SATAポート）に接続します。

手順.11

パソコンの電源を入れます。

※Windowsを管理者権限でログオンしてください。

1.接続しよう Ⓑ

USBケーブルでパソコンに接続する場合

※セットアップを行う場合には、管理者権限でログオンしてください。

手順.1

本製品のモード切替スイッチを[ノーマルモード]に設定します。（出荷時設定）

手順.2

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.3

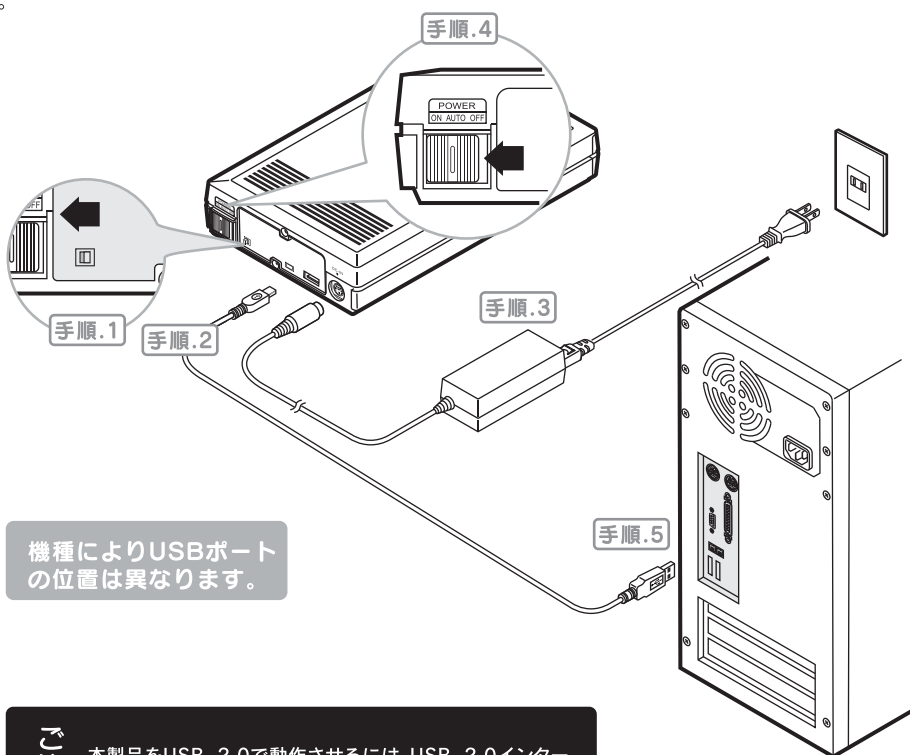
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.4

本製品の電源を[ON]または[AUTO]にします。

手順.5

パソコンのUSBポートにつなぎます。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

機種によりUSBポートの位置は異なります。

ご注意 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

MEMO

電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能　※USB接続時のみ対応）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

ご注意 電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。
※本機能はUSB接続時のみ対応しております。

モード切替スイッチの説明

ノーマル	通常のBlu-ray Discドライブとしてお使いいただくことができます。（出荷時設定）
SimpleDisk	Mac OS環境にてドライバレスでBD-REメディアに書き込みすることができます。

縦置きにする場合

手順.1

添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。

手順.2

イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

手順.3

イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。

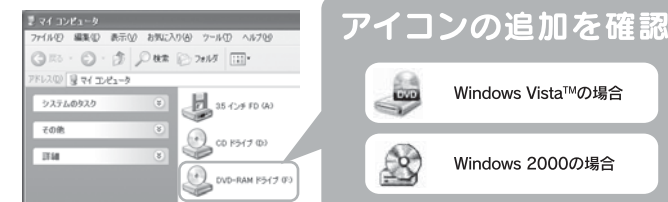
横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

注意
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- 縦置き時、8cmメディアは使用できません。

2.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して［マイコンピュータ］（または[コンピュータ]）を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

↑（画面例：Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合）

ご注意
- ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。
- ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。（例：Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。）

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

3.取り外し手順を覚えよう

eSATAケーブルで接続している場合

パソコン起動中に取り外しすることはできません。
必ずパソコンの電源を切ってからeSATAケーブルを取り外し、本製品の電源を切ってください。

手順.1

メディアを取り出します。

手順.2

Windowsを終了します。

手順.3

パソコンから本製品のeSATAケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

USBケーブルで接続している場合

ここではパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。（画面例：Windows XP）

手順.1

画面右下にあるタスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

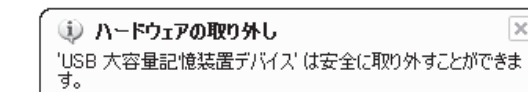
手順.2

本製品の表示をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。
（画面例：Eドライブの場合）

手順.3

メッセージを確認します。

（Windows XP以外の場合は[OK]をクリックします。）

手順.4

パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

ただし、電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。（Windows Vista™ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。）

4.その他

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの「Q01　本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない）」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行]ボタンをクリックしてください。

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しをおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

裏面へお進みください。

てっトリ早く Blu-ray（ブルーレイ）を使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

Blu-rayに映像を保存したい	DVDビデオを作りたい	Blu-ray等の映像を再生したい	データDVDを作りたい	Blu-rayにデータを書き込みたい
Ulead BD DiscRecorder™ 2.5（Corel）	BD version DVD MovieWriter® 5（Corel）	interVideo WinDVD™（Corel）	B's Recorder GOLD9 BASIC（B.H.A）	B's CLiP（B.H.A）
BDレコーディングソフト	**DVDオーサリングソフト**	**Blu-ray Disc再生ソフト**	**データライティングソフト**	**パケットライトソフト**
Blu-ray Discへ映像ファイルを書き込んだり、デジタルビデオカメラから直接レコーディングする際に使用します。※Windows 2000非対応	既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。※Windows 2000非対応	作成したオリジナルBlu-ray Disc/DVDの映像や市販のBlu-ray/HD DVD/DVDを再生することができます。※Windows 2000非対応	通常のデータBD/DVD/CDや暗号化DVD/CDを作成することができます。※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。	インストールすると、Blu-ray Discメディアにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。

BDに映像ファイルを保存する手順については･･･ / デジタルビデオカメラから直接BDに映像を保存する手順については･･･
→ 右記【Blu-rayに映像を保存しよう】をご覧ください。

DVDビデオの作成手順については･･･ → 添付のDVD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルをご覧ください。

作成したBlu-rayの映像を再生する手順については･･･ → 右記【Blu-ray等を再生しよう】をご覧ください。

DVDメディアにデータを書き込む手順については･･･ → 右記【データDVDを作ってみよう】をご覧ください。

BDメディアにデータを書き込む手順については･･･ → 右記【BDにデータを書き込もう】をご覧ください。

添付のDVD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルをご覧ください。

❶添付DVD-ROMを本製品にセットします。

※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[許可]をクリックしてください。

❷[BRD-UXシリーズ]ボタンをクリックします。

❸[画面で見るマニュアルを読む]ボタンをクリックします。

注意 添付ライティングソフトウェアについて

- ●本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ●書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
- ●DVD+RW/-RW、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。

参考

添付の「BD Pro ツールズコレクション for BRD-H6」DVD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

ソフトウェア	内容
EasySaver LE（I-O DATA）	**データバックアップソフト**：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。（本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。）
QuickSecure for DVD/CD（I-O DATA）	**簡単セキュリティソフト**：ドラッグ&ドロップの簡単操作でファイルを暗号化/復号化することができる、セキュリティソフトウェアです。
QuickDrive LE（I-O DATA）	**ドライブコントロールユーティリティ**：パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。（本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。）≪使用方法について≫QuickDriveの画面で見るマニュアルをご覧ください。[スタート]→[I-O DATA]→[QuickDrive LE]→[オンラインマニュアル]から起動します。
BRD-UXH6 USB転送最適化ユーティリティ（I-O DATA）	**USB転送高速化ユーティリティ**：USBのデータ転送を効率化することで、ドライブの最大書き込み/読み込み速度でお使いいただくことができるようになるユーティリティソフトウェアです。添付のB's Recorder GOLD9 BASICをインストールすると同時にインストールされます。
画面で見るマニュアル for BRD-UXH6（I-O DATA）	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※収録されているソフトをお使いの場合には、Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。

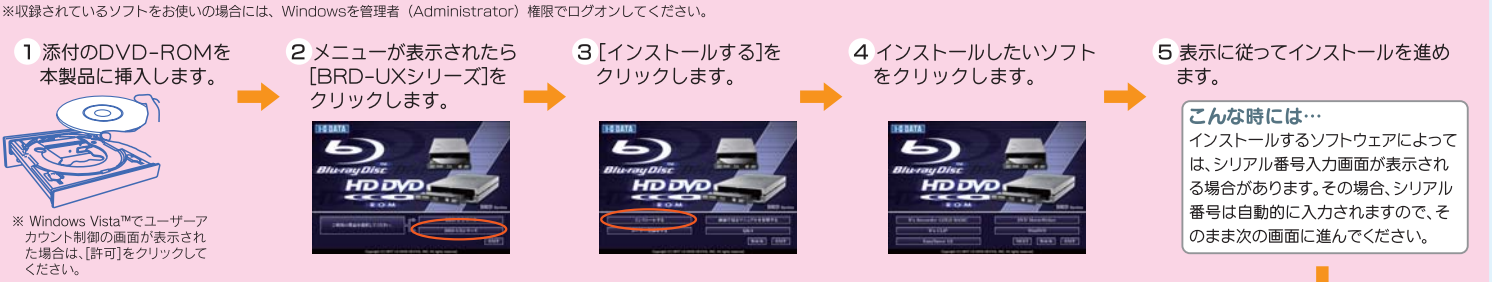
1 添付のDVD-ROMを本製品に挿入します。

※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[許可]をクリックしてください。

2 メニューが表示されたら[BRD-UXシリーズ]をクリックします。

3 [インストールする]をクリックします。

4 インストールしたいソフトをクリックします。

5 表示に従ってインストールを進めます。

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

6 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

参考 シリアル番号/CD-Key

- ●WinDVD :
- ●B's Recorder GOLD9 BASIC :
- ●B's CLiP7 :

てっトリ早く Blu-rayに映像を保存しよう

ここではDVD MovieWriter 5 BD versionを利用して、BDメディアに映像ファイルを保存する手順を説明します。

1 動画ファイルを準備します。

- ●TVキャプチャ
- ●VHSビデオテープ
- ●DVカメラetc.

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

2 DVD MovieWriter 5 BD versionを起動します。

[DVD MovieWriter 5 BD version]アイコンを**ダブルクリック**

3 表示されたメニューから[ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。

4 [Blu-ray]にチェックをつけ、[OK]ボタンをクリックします。

5 [メディアの追加]枠の中から をクリックします。

6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。

ヒント！ ここでDVD画質の映像ファイルを選択すると長時間の映像ライブラリBDを作成することができます。

7 [次へ]ボタンをクリックします。

8 本製品にBDメディアを挿入します。

9 [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。

こんな時には…
■下記のようなメッセージがでた･･･

⇒初めてBDメディアを使う場合には、メディアの初期化が必要です。[OK]ボタンをクリック後、次の手順で初期化をおこなってください。

1. [ディスクの初期化]をクリックします。
2. [OK]ボタンをクリックします。
3. [OK]ボタンをクリックします。

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-H6」のメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ユーリード テクニカルサポート
045-226-1966
受付時間… 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く)

てっトリ早く Blu-ray等を再生しよう

ここではWinDVD BDを利用して、Blu-rayの映像を再生する手順を説明します。HD DVDおよびDVDビデオも同様の手順で再生できます。

1 [スタート]→[プログラム(すべてのプログラム)]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD for I-O DATA]の順にクリックします。

2 再生するBlu-ray Discを挿入します。

こんな時には…
■Windows XPで右のようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-H6」のメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
インタービデオジャパン テクニカルサポート
045-226-3899
受付時間… 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く)

てっトリ早く BDにデータを書き込もう

※ 2～7の手順はBD-REメディアに初めてデータを書き込む際にのみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

1 BD-REメディアを本製品に挿入します。

2 マイコンピュータを開き、本製品のアイコンを右クリック→[B' s CLiPフォーマット]をクリックします。

3 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。

4 [次へ]をクリックします。

5 必要に応じて[ボリュームラベル]、[UDFバージョン]を設定し、[完了]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。

7 フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。これでBD-REメディアへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

ここではB' s Recorder GOLDを利用して、DVDメディアにデータを書き込む手順を説明します。

1 B's Recorder GOLD9 BASICを起動します。

[B's Recorder GOLD9]アイコンを**ダブルクリック**

2 表示されるメニューから[データCD/DVD]を選択します。

3 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。

てっトリ早く ヒント！
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

4 メディアを本製品に挿入して[開始]をクリックします。

5 書き込みを開始します

こんな時には…
■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入したら下記のようなメッセージが出た…

●後でデータを追加して書き込む場合
[追記可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

●書き込み後にデータを追加する予定がない場合
[互換性を重視し追記不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

困った時には…
添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター 06-4861-8234
受付時間…10:00～12:00/13:00～17:00
月～金曜日(祝日などビー・エイチ・エー社の休業日を除く)

注意 B's Recorder GOLD + B's CLiPを使用する際のご注意

- ●省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション・マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- ●2層DVD±Rメディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
- ●一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- ●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
  また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
- ●一度「B's CLiP」でフォーマットしたDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
- ●「B's Recorder GOLD」にてコピー禁止機能付きDVDを作成する場合には、本紙表面［推奨メディア］欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM対応DVD-R/RW for VIDEOメディアをご利用ください。
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- ●B's Recorder GOLDのエラー回避機能のチェックを外さないでください。
  「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。
  ※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
- ●他のCD/DVDドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
  「B's Recorder GOLD」が対応していないCD/DVDドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
  ※ ㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
- ●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- ●Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- ●本製品は「B' s Recorder GOLD」の「HDDバックアップ機能」には対応しておりません。
- ●「B' s CLiP」はCPRMに対応しておりません。

注意 著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合か、著作権保有者から複製許諾を得ていない場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

注意 地域コード（リージョンコード）について

本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/